2020年度事業計画書

一般社団法人OHANA

本年度（2020年度）は昨年度の事業（「ものつくり、及びものつくりの場を通して、地域社会と繋がり、孤立化を防止する事、社会復帰に向けた就労スキルの取得等」に加え、被害当事者がより社会復帰しやすい環境を整える活動として、神奈川県内のNPO法人、地域商店街（平塚市駅前商店街）、市民活動団体と協力し、就労体験ができる場所つくりに取り組み、ひとりでも多くの被害当事者の経済的自立支援の実現に努めていく。

また、現在の新型コロナ禍により、「集まり合う」事が難しくなった今年は、被害当事者への支援も「新しい生活様式」に合わせた自立支援（ピアカウンセリング、専門家による認知行動療法等の「トラウマ回復」の併用）へと切り替えていく。

その他、法政大学現代福祉学部の学生と共に、コラボ企画を開催する事で、専門職や支援員の人材育成にも取り組む。

また、外部講師をサバイバーであり、フォトジャーナリストとして海外でも様々なボランタリー活動をしている大藪順子氏を招いて、勉強会を開催する事で、メディア等で報じられている「性犯罪被害者像」ではなく、真の性犯罪被害者に接してもらい、今一度、「性被害」とは何か？足りない支援とは何かを参加者全員で考える場とし、性犯罪・性暴力、それに伴う二次被害の防止に努めて行きたい。

更には、関係機関の職員、地域の活動団体、地域一般の市民に向け「人権と命をテーマとした勉強会（仮）」を開催し、「人権」や「命」の意味について、思い返す事で、地域に住む人同士が繋がり、そこに住む誰もが安心して生活できる地域つくりにも取り組んでいきたい。

また、3月には平塚市内部保健研修の講師を務め、当事者の視点から、行政職員にしてほしくない事、また具体的な言葉かけ、性暴力被害者の置かれる環境等を伝える事ができた。

【事業内容】

1. ハンドメイド（ものつくり）を通してサバイバーが安心して過ごせる居場所つくり事業

①　毎月ハンドメイドピアサポート、電話、来所によるピアカウンセリングの実施

場所：かながわ県民センター、当団体事務局（平塚市）

②　法政大学とのコラボ企画

（外部講師を招いての被害当事者ケア勉強会、人権と命に関するサミット（仮）

場所：平塚市内の公共施設

③　地域イベントへの出店参加、作品の展示販売

場所：神奈川県内で開催されるイベント

1. 自立支援（就労支援）事業

実施場所：当団体事務局（平塚市）

1. 毎週1～2回程度、社会復帰に必要な就労スキル（ハンドメイド雑貨、アクセサリー、ウェブコンテンツ制作、基本的なパソコン操作等）の取得支援（一部有料）
2. 希望者には、就労体験の機会（地域イベントへの出店参加、神奈川県内のNPO法人運営のカフェでの接客、平塚市駅前商店街、市民活動団体のボランティア）の交渉。
3. 専門職（心理カウンセラー、精神保健士）による認知行動療法によるトラウマ回復プログラムの実施（有料）。
4. 神奈川自助グループ助け合い事業（マッスル会）
   1. 新型コロナ感染対策としてオンライン導入を検討する。
   2. 神奈川県社協登録以外の活動グループでも参加できるように、平塚市内の市民活動団体への積極的な声かけをしていく。
5. 横の繋がりを強化し、ネットワークの裾野を拡大してきたい。